

Q 2.44

Vol. VII, no. 5

67/14  
c

# 昭和時報



日軍兵を激讃する  
陸上部隊司令部

香港電昨日のWR A  
発表に依ると日軍人兵  
三万五千二百九十名中  
約二千名が欧州及太平洋  
戦線の犠牲となつてゐる  
る旨発表した。

WR A 副所長R B ツ  
ン氏は米國陸軍陸上  
部隊司令官J レデー  
グー大將よりの書面を  
公表した。書中將軍は私  
の意見では私の指揮下  
にある米國陸軍中二世  
兵が最も活躍する軍人下  
ありと強調してゐる。  
米國兵は米軍人——此  
の中に二世兵も含まれ  
る事は勿論——が米國  
デモクラシーの爲に奮  
戦に關つた事を忘れて

## 軍人家族扶助料

米十字支部下取扱ふ

はなつたといふ書いてゐる  
此の書面は加州に於  
ける日軍迫害と關つて  
ある米國主義擁護協会  
宛に送られたものである。

米國米十字支部和支部團  
内奉仕部長は現在軍籍  
にある家族を有する者  
は全部和支部宛に  
一士頭地方支部へ扶助  
料請求或は他の緊急請  
願に關する文書提出の  
第一書込書を受取られ  
たしと、近々入當する者  
も米國所に出る申請  
の手續きを爲すべきで  
ある。  
上述の扶助を要すると  
思考せらるる方は何等

## 朗和大美術展

出品に關する注意

来る廿一日廿二日行は  
れる朗和大美術展は多  
数の素人・主人・美術家  
出品し、出品美術品も多  
方面に亘つてゐるので  
前人氣は素晴らしい。  
開館時間は午前九時

躊躇する事なく、國内奉  
仕部長橋本ジョー氏と  
尋ねられたし。

## 朗和住民より 請願書研究委員会宛

ヒラ川の町よりマイヤ  
一局長へ提出した請願  
書十五條の寫しを呈所  
奉事金に送附し來つた  
が、朗和として請願  
書作製委員会を設け、  
比良駐在所請願書を基礎  
として研究し、局長宛に

十一時、午後一時、五時  
夜七時—九時半である。  
出品申込みは本旺正午  
迄に數と品名を添へ、  
C A 迄來られ、又、土  
品は翌金旺正午二時—  
五時、及七時—八時迄に  
公金堂へ持参されたし  
と、出品品物に付ける名  
札は押込みの時C A へ  
のりふ事。  
最後に出品物に對して  
は警察共々他で万全の  
注意を拂ふ。

帰還特別列車  
本紙発行迄に編成決定を見  
せられ、爲入電あり、次号外  
にて直ちに番網発表す。

## 朗和住民より 請願書研究委員会宛

提出に決定、本委員会  
は定住研究部員及更に  
追加のたの十名を以て  
編成す。  
奉事金〓横山街門(13区  
岡次史朗(11区)成田正秋  
戸田五味保(12区)大久保  
弘(21区)

区長金〓野口義藏(11区)  
水島英津志(10区)中山友  
次郎(9区)浅和軍治(20区)  
秋本量(19区)

## レシーブブックは 出所前に下附

現在レシーブブックは短  
期生所及外部定住者に  
所内下出発前に手交さ  
れる。此の改正法は従來  
出所した或者等の遭遇  
した困難を除き、殊に  
短期より長期に變更し  
た者等に好都合である。  
若し何等かの理由で出  
所前之を得られなかつ  
た場合は出所先の方  
に、転住事務官は物價統制  
局に到り、レシーブブック  
の下附と交渉してくれら  
る。事務官が居ない下は  
出所者は電報か手紙で  
出身転住局へ要求すべ  
きである。次に短期出  
所者が帰所した場合、  
一応返納し定住出所の  
時再下附する。

## 日記帳

「アウトポスト」

## 廃刊が継続か

外部定住の大波は本社  
英字部にも押し寄せ、未  
週出所する二名を抜き  
取られて後はかう空き  
同然。之では英字紙の廃  
刊も止むを得ない恐慌  
振りである。  
五千に近い朗和住民の  
中にまだ沢山残つて居  
る二世の事を考へると  
心淋しく、因情に堪えな  
い。此の際記者及タイピ  
ストとして適當な人物  
を諸君の子弟の中から  
或は知友の間からでも  
御推薦願ひたい。  
最後迄朗和を愛する  
者所の英字紙が第一番  
に廃刊にならば、他  
に定住所に對しても申訳  
ない次第である。

# 羅府上町道場で 飯還者を大歓迎

羅府飯還者は同市十二  
街と下ドミオンモント  
より西に六区街南の道  
場を通過の橋古をす  
事を歓迎する。  
館(エジソン)及びリ  
ムアルバーツマイヤー  
両道場主は柔道に興  
味ある人は一二を同

## 野球界

宮川一郎論

アリグデラルリ  
グを通じてセンター野  
球の最人気者はエ  
イセス軍のマネゲヤ  
宮川である。  
背の高さよりグ中の  
随一でその長身長脚で  
多量なボールを打つ  
躍りやめる音は北  
フロリン軍の最人気

はす大歓迎する音発表  
した彼等は又温道後柔  
道教師を招聘しんき音  
述べてあり。  
練習は毎週火木両夜七  
時半より十時迄行ふ。  
多数白人実業家同業  
道は非常に体育的な  
のとして流行を来して  
店り陸海軍では我術  
の一として正科に数  
ハッポホップ船で  
日系兵を討める

大西洋上某海面にて！  
眼寛めて見れば今期  
は海面青墨を敷いた様  
で實際何か素晴らしい冒  
険でもやつて見た様  
な衝動にさへ駆られ  
千四百名の兵士の前  
芝居をやつたが彼等は  
主に日系兵であつた。打  
てば響く様子をシーア  
若者揃ひでハンバー  
ーサンドウッチ同様  
全に米国的である。

して鳴らしてゐた。  
一塁手をやらせれば彼  
の右に出る者はないた  
らうが今では若い選手  
に一塁を任せて自分  
強打に物を言はして遊  
撃に入たり捕手にな  
りしてゐる。  
遊撃手としての彼は余  
り肩に頼り過ぎてモ  
ーニングが遠く失敗する事  
がよくあり守備は深く  
て右には強いが二塁手  
りあるの方面は球は

よくランゲルしてゐる。  
捕手をやらせれば大抵の  
ミスをその強打に恐  
れてスローをする機  
会があつても減多にワ  
イしない。一塁毎に投手  
をリードして此所へ投  
げろ。今後は此所と  
ふ様にプレイスするの  
でカゴワールの定  
ない投手は投げ難い事  
だらうと思ふ。余り策を  
弄して過ぎて若い投手を  
破滅させればある。

## 感謝と報告

政佐々木勘三郎氏(広島  
縣高田郡比村の華儀  
に當り御同情を寄せら  
れし各位に在り故人一同  
は感謝してゐる。高故人  
の所持金の中華儀費用  
を控除せる参四百十八  
弗七十三仙は故人の遺  
言に依り参百弗を在日  
本の子息へ遺言と共に  
渡すべく残金はその要  
用として早島同教使へ  
委託せり。母夫人代表  
佐々木鶴子、中野子代、  
郎。

◎日本映画  
既に到着の筈なりし日  
本映画は来た朗和に未  
てないが到着次第本紙  
上で発表する。

◎劣所  
廿八日の茶道初ハハ  
ル氏は今回法馬安所に  
祭つた所内の皆様は宜し  
くとの事であつた。



野話の金

## 金儲か教育か？(一)

個性が環境を作るか  
環境が個性を作るか  
要々討議されたい。又  
あるが環境が将来を  
左右する。偉大な力さ  
有する事は何人も否  
む事は出来ぬ。教育が  
特にせよ。この子供達  
に與へる影響は重大  
である。議論のない答  
の此の事を熟知しな  
がら然かもうつかり  
子供を脱道に外らせ  
る両親が意外に多い  
のには驚かされる。  
此処に少年労働に關  
する興味深い記事を  
八月号「ピグ」より転載  
して見よう。  
十四万より十八才迄の  
三百萬以上の者が飯還  
兵の爲現在の職場から  
退かぬはならぬ。此の  
退かぬは彼等は学校に飯  
還すべきであるが果して  
彼等はさうするだらう  
か？多くの者が我時工  
場に働き子供といへば  
馬鹿な高給を得て  
る時は當に我時だ。  
閑職以来数百萬の学生  
が学校から職場へ去つ  
た。自己の将来と目先の  
容易な金儲けを交換し  
て人生の迷路に迷ひ込  
んだ事に気が附かない。  
附いたものは文部省で  
直ちに全社を動員し  
就労運動を起した。  
少年労働は今日猶米國  
に於ける一大問題であ  
る。米國を中途で逃げ  
た一少年が人生の范  
を見ぬ。同に一朝の夢と  
果敢なく消え去つた悲  
慘事を見よ。此の刑法規  
を免脱したやう方は冷  
血漢の殺人に等しい。

# 外部定住欄

樓台でホテル開業  
朗和出身現樓台ソールン  
街四番地在住の田村K  
氏は別所長モートルト  
氏に書を寄せて  
五月廿日朗和を美  
つて当地に参りました  
か全部好都合に参りま  
した家族は六月八日か  
ら十二日に掛けて旅行  
をし此處で一緒になり  
ましたが当地の空気の  
穏やかさに共に喜んで  
居ります只今の計画と  
しては従来経営してゐ  
た食付ホテル(五十二室)  
を再開せんと努めて居  
りますと。

或は二家族(小)本年三月  
以来経営。  
紐育州口チェスター  
北フィア街四十三番地  
第一浸礼教会牧師館(同  
地定住委員会主催)  
無料。但し本人の希望に  
依つては教会へ寄附も  
可。收容人員一家族(大)或  
は二家族(小)本年正月以  
来経営。  
兵士家族に  
戦時住宅提供  
二世兵士及除隊兵の兩  
親妻子供は特定公衆戦  
時住宅に同地に定住せ  
る軍需工場就働者と同  
等の資格で入る事を許  
可された。  
転住部は去る六月廿日  
ツルマン大就頭カラ  
シハム條令援助を要す  
る軍人家族に戦時住宅  
提供に署名した由入電  
援助を要する家族とけ

現役或は除隊兵にして  
家族が追立て或は経済  
上の理由で其地に住宅  
を得られぬ者や意味  
し戦死者遺家族は之  
は適用される。  
所外転住事務官は地方  
住宅部員に交渉し新法  
令の特典に浴し得る  
との家族に住宅獲得の  
途を指示し指令を受け  
る。転住部員は諸州の戦  
時住宅で軍人家族を許  
容する場所のリストを  
近日中に入手する見込  
北加返還者  
急激に増加  
六月廿日迄に北加に返  
還した日系人数は既に  
四二八〇人に達した。六  
月迄でこの方面に一五  
七七人か返還した。五月  
は七三四人であつた。  
六月末日迄に四二八〇  
人の中布市近郊に一一  
〇人、北市に九一〇人  
、南に五三九人、王府に  
四五九人及須市方面四

三八人で残部はファイセ  
リヤ、東港、ワッソビル及  
サンタローザ方面に返  
還した。  
桑港日本人街で  
ホテル開業  
元ハート山在住の吉村  
英治氏は桑港のケリ街  
とブキヤン街角にてホ  
テル開業の計画を進め  
て居る。同氏は廿八年の  
経験をもつるホテル業  
者である。七月七日返  
還し前述の場所の空く  
のを待つて開館の予定  
である。因に氏は四人の  
子供の親である。  
リトルラック  
転住官來訪  
リトルラックWRAの人  
Nレエオン氏は本日本  
朗し一週間滞在して當  
所民と会見の予定であ  
る。故面会希望者は知え  
る。転住部で予約せら  
れたし。

加州テロリスト  
逮捕に千弗の賞金  
機府発加州機事総長  
ロバートゲニーは同州  
に於て日系人襲撃犯人  
逮捕及求刑に役する情  
報提供者に一千弗の賞  
金を與へる旨發表した。  
加州法では斯くの如き  
賞金支払を許可してな  
いか米国レヒルリパチ  
ーユニオン(自由擁護組  
合)が重罪犯人逮捕の場  
合に支払ふものである。  
此の賞金獲得者の姓名  
は秘密にされる。此の賞  
金は日系人返還に對す  
るテロ行為に對する抑  
圧策である。

の上参考会事務所迄申  
出られ度しと。  
フエテラル聯盟の  
栄冠は消防軍へ  
各軍の力量を敵し常に  
接戦を続けて好球家を  
喜ばせて来たフエテラル  
リーグ戦第ニラウンド  
は根本がウチ投手を有  
する消防軍の前には前  
回の優勝軍C.A.を始め  
全チーム撫で斬りにさ  
れ四勝零敗の同チーム  
が栄冠を獲得する所と  
なつた。  
他は殆んど二敗二敗を  
喫し警察軍は万歳及エ  
ンジンニアとタイゲーム  
となり再試合を行ふこ  
ととなつてゐる。  
寄附  
朗和仏教会ではお盆法  
要に對する本社のお盆法  
に對し全一封を寄附さ  
れた社員一同は御筆意  
々對し感謝して居る。

邨  
丘

儲け且つ郡の発展を望んで居るのである。土質は黒味のある堆積土であり肥沃である。深さは浅くとも三呎から四呎あり、土質そのもののものから云へば何の作物にしても出来ないのではないと云へる。そして此の地方の氣候を考慮に入れて見れば、冬セントラーの農園で試作済みの野菜類特にトマト胡瓜茄子等などは成功間違なしと思はれる傾向もあるが、此の奥は吾人の嗜好に關する事として較て云々しないが、土質が一グライなだけに肥沃である事は確かだと云へる。一見して往年のセロリ名産地加州ベニスの地を思はすものである。(一號)

盆踊り

最後の盃金を飾る

来年何処で

朗和に於ける最後の不  
 盒法要は数子の傳教信  
 者により土旺日旺兩日  
 嚴修された。  
 元亡者の墓前には色と  
 り／＼の供花が供へら  
 れ、早島、河内、宮崎、三洲教  
 使の読経、各代表者の焼  
 香に最後の墓前供養が  
 行はれた。  
 午後二時よりは多數の

佐民の公金堂に集し  
二日共に心からの話を  
交した。  
今年の盂蘭りは今近に

竟尔手足攢り下踊りの  
 のも愛嬌ある風情を添  
 えたるは尤も合點ならぬ  
 事なり。

既に於丁未時消滅  
 物形態に因する面白  
 映畫と見せるから多數  
 の出席を乞ふと。

夏は行く 徳永田芥子  
長き日の昏れて 桐若景茂り来る中  
今日も事なく過し 煙草の花のゆれてゐる  
桐若景青い雨して 地の雀

お金 供養

幼  
兒  
向  
ま  
の  
教  
育  
映  
画

幼稚園の子供に本曜午  
前十時よりトウランド  
(十三)及午後二時半より

頁に依り謡曲お盒供養  
 又今夕は八時より宵四  
 匠に之宮騎開教使に依り  
 故高橋師面々日供養あり  
 式後最後謡曲全と開催

四  
十

郎和吟壯山柳句抄

席吟  
題「時代」

互送

堅實と時代潮流と認識さへ

紅つけた頃もあつたと東の髪  
黒船の時代もあつた日米史

運

超然と時代に拂つて独者  
夢に淫く明日の時代へ生き延びる

新時代集く犧牲の虎山

席  
題

敵人の苦下りかつた今日の悔  
信仰に生さてる苦を愚痴並べ

海頭

東の苔の便り待つ間の窓に寄り  
見送して見ても鏡に写る顔  
来り苔と待った便りも明日となり  
此処に来り苔下じかつた閉鎖令

宿題 題「流石」

史朗

賞録は流石名取と云ふ歸  
水泳着住んて港の香か残り  
閉鎖令流石に迷ふ子沢山  
血の誇流石に強い百部隊  
岩壁の風に流石にねめ放  
旅靴流石に東は行き届き  
持つてゐらしい流石に寄附の高

一街 碧 香 閑 南 逸 隆 朗 吾 用 一

海水 雪水 閑水 南海 逸水 隆水 朗水 吾水 用水 一街